



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年2月9日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁  
 問合せ先責任者(役職名) 経理財務本部長 (氏名) 多木 宏行 (TEL) 03-5822-6170  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	15,299	14.1	1,000	349.2	947	392.1	731	596.6
29年3月期第3四半期	13,410	△0.0	222	△72.8	192	△71.3	104	△74.8
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
30年3月期第3四半期	92.10		—					
29年3月期第3四半期	13.22		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	27,861	7,676	27.6
29年3月期	28,425	7,000	24.6

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 7,676百万円 29年3月期 7,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
30年3月期	—	5.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	10.0	1,150	118.2	1,000	142.5	750	221.5	94.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年3月期3Q	8,143,390株	29年3月期	8,143,390株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

30年3月期3Q	206,058株	29年3月期	206,037株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年3月期3Q	7,937,343株	29年3月期3Q	7,937,423株
----------	------------	----------	------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

(全般の概況)

当第3四半期累計期間の世界経済は、米国や欧州においては堅調な経済成長が継続し、中国でも、各種政策効果により景気の持ち直しの動きが続きました。しかしながら、朝鮮半島や中東情勢など地政学的リスクの高まりにより先行きに不透明感が残る状況で推移しました。一方、わが国経済は雇用・所得情勢が堅調に推移し、景気は緩やかに回復しました。

このような状況のもと、当社はお客様との関係強化に努め、積極的な販売拡大、新製品の開発、コスト削減に取り組み、当第3四半期累計期間の売上高は15,299,631千円(前年同期比+1,889,356千円、+14.09%)、営業利益は1,000,928千円(前年同期比+778,121千円、+349.23%)、経常利益は947,409千円(前年同期比+754,885千円、+392.10%)、四半期純利益は731,009千円(前年同期比+626,063千円、+596.56%)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### 【感光性材料事業】

半導体向け感光性材料は、IoTによる電子デバイス使用量の大幅増加により、旧世代感光性材料販売が増加しました。また、データ通信量増大によるDRAMおよびフラッシュメモリーの3次元化によるレジスト需要、スマートフォン用等の先端半導体向けレジスト材料の販売はいずれも拡大しました。ディスプレイ向け感光性材料も、堅調なLCDマーケットに加え、OLEDマーケットの立ち上がりにより、販売は大幅に増加いたしました。

この結果、同事業の売上高は8,529,788千円(前年同期比+1,461,070千円、+20.67%)となりました。

#### 【化成品事業】

化成品部門は、電子材料向け製品を中心に、販売量は堅調に推移しました。

ロジスティック部門は、顧客満足度向上に努めた結果、タンク契約率、回転率共に高水準で推移しております。

この結果、同事業の売上高は6,769,843千円(前年同期比+428,286千円、+6.75%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は27,861,584千円となり、前事業年度末比563,527千円の減少となりました。

流動資産は11,381,028千円で、前事業年度末比84,454千円の減少となりました。これは主に現金及び預金423,218千円の減少及び受取手形及び売掛金547,815千円の増加並びに商品及び製品112,509千円の減少によるものであります。

固定資産は16,480,556千円で、前事業年度末比479,073千円の減少となりました。これは主に取得による増加967,955千円及び除売却による減少224,979千円並びに減価償却による減少1,259,786千円によるものであります。

流動負債は13,952,168千円で、前事業年度末比85,605千円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金264,295千円の増加、短期借入金308,000千円の増加及び賞与引当金140,434千円の減少並びに役員退職慰労引当金532,118千円の減少によるものであります。

固定負債は6,232,849千円で、前事業年度末比1,154,177千円の減少となりました。これは主に長期借入金1,239,663千円の減少によるものであります。

純資産合計は7,676,566千円で、前事業年度末比676,255千円の増加となりました。これは主に四半期純利益731,009千円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月10日に公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び業績予想の修正に関するお知らせ」における通期の業績予想の数値に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,865,819	1,442,601
受取手形及び売掛金	3,183,272	3,731,087
商品及び製品	4,634,110	4,521,601
仕掛品	149,496	37,688
原材料及び貯蔵品	1,105,437	1,335,172
その他	530,551	316,664
貸倒引当金	△3,205	△3,788
流動資産合計	11,465,482	11,381,028
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,006,460	6,734,502
機械装置及び運搬具(純額)	3,348,998	2,951,678
土地	5,020,230	4,818,582
その他(純額)	683,387	1,069,091
有形固定資産合計	16,059,076	15,573,854
無形固定資産		
その他	366,701	335,113
無形固定資産合計	366,701	335,113
投資その他の資産		
その他	533,852	571,588
投資その他の資産合計	533,852	571,588
固定資産合計	16,959,629	16,480,556
資産合計	28,425,112	27,861,584
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,184,569	2,448,865
短期借入金	6,242,000	6,550,000
1年内返済予定の長期借入金	3,310,932	3,261,204
未払法人税等	54,560	65,980
賞与引当金	332,635	192,200
役員退職慰労引当金	532,118	—
その他の引当金	31,746	24,211
その他	1,349,212	1,409,707
流動負債合計	14,037,774	13,952,168
固定負債		
長期借入金	5,455,231	4,215,568
退職給付引当金	1,234,593	1,297,304
役員退職慰労引当金	65,617	59,674
その他	631,585	660,302
固定負債合計	7,387,026	6,232,849
負債合計	21,424,801	20,185,017

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,883,578	4,535,215
自己株式	△88,968	△89,006
株主資本合計	6,955,088	7,606,687
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	43,604	69,879
繰延ヘッジ損益	1,617	—
評価・換算差額等合計	45,222	69,879
純資産合計	7,000,311	7,676,566
負債純資産合計	28,425,112	27,861,584

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	13,410,274	15,299,631
売上原価	11,184,075	12,175,714
売上総利益	2,226,199	3,123,916
販売費及び一般管理費	2,003,392	2,122,988
営業利益	222,807	1,000,928
営業外収益		
受取利息	282	417
受取配当金	6,506	7,025
為替差益	—	20,595
受取家賃	20,182	12,473
生命保険配当金	9,113	1
補助金収入	135,094	529
その他	33,431	24,309
営業外収益合計	204,610	65,351
営業外費用		
支払利息	137,899	106,185
為替差損	80,349	—
その他	16,643	12,684
営業外費用合計	234,893	118,869
経常利益	192,524	947,409
特別利益		
固定資産売却益	—	154,109
特別利益合計	—	154,109
特別損失		
固定資産除却損	2,946	11,504
特別損失合計	2,946	11,504
税引前四半期純利益	189,577	1,090,014
法人税、住民税及び事業税	12,101	111,723
法人税等調整額	72,530	247,281
法人税等合計	84,631	359,005
四半期純利益	104,945	731,009

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,068,717	6,341,556	13,410,274	—	13,410,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	166,219	166,219	△166,219	—
計	7,068,717	6,507,776	13,576,494	△166,219	13,410,274
セグメント利益又は損失(△)	279,873	△57,066	222,807	—	222,807

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,529,788	6,769,843	15,299,631	—	15,299,631
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	188,952	188,952	△188,952	—
計	8,529,788	6,958,795	15,488,583	△188,952	15,299,631
セグメント利益又は損失(△)	1,035,258	△34,329	1,000,928	—	1,000,928

(注) セグメント利益又は損失は四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。